



プロジェクト名称

## 空き家改修プロジェクト

プロジェクト活動概要

今回の改修物件は以前、熱海港・伊豆大島の元町港を結ぶ東海汽船のチケット売り場兼事務所として使われていた。東海汽船は13年間船の運行を停止していたが、2016年から運行を再開することとなり、以前使われていた建物をチケット売り場兼事務所として再び使用し始めたため、この場所を地域活性化拠点とすべく設計及び改修に携わることとなった。

前年度は1階の船の待合所部分を綺麗にし、郷土資料室を新たに設置した。今年度は引き続き同物件の2階をものづくりスペースへと改修し、地元住民も気軽に訪れることができる居場所をつくる。



プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 2階のワークスペースの施工を終わらせて、1階と連携したイベントを開催できる状態にする
- ② 設計や運営方法を地域の人々と協力することで、地域住民に根付く場所にする
- ③ 地域住民が自主的にこの場所を使っていくような空間づくりとシステムづくり

目標①：施工スケジュールが変更となり、2階の家具の施工などを来年にまわす事になったため、2階の家具と階段室以外の施工を終わらせることを新たな目標とし活動した。結果として、今年度目標としていた部分までは施工を全て終わることが出来たため、来年度末のオープンに向けて今後も引き続きスケジュール管理を徹底して活動を続けたい。

目標②：設計や運営方法は毎月地元の方々と空き家利活用推進協議会という会議で話し合っており、今年度末にはお世話になった方々を現場に招待し、1年間の活動報告を行った。

目標③：地域住民が自主的にこの場所を使っていくような場として、段差によって緩やかに区切られた空間やコーヒーカウンターのある空間を設計した。システム作りは今年度あまり詰めることが出来なかったため、来年度末のオープンまでに、運営のシステムをしっかりと詰めていきたい。

活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2017年11月1日～2018年3月31日

週に1度大学内にてプロジェクトメンバーでミーティングを行い、設計・施工・イベントについて意見共有を行っている。また、月に1回程度稲取に訪問し施工や、空き家等利活用推進協議会という地元の方々とのミーティングに出席している。

## ▶設計

解体中に新たに浮上した問題点などに臨機応変に対応し、その都度設計を柔軟に変更した。その際、どのように施工すると予算内で美しく仕上げる事が出来るかということを中心に意識しながら設計した。

## ▶施工

前期に基礎から作り始めた小上がりとコーヒーカウンターは仕上げ材まで貼り終わり、ようやく完成した。小上がりは、元々展示用に作られていた既存の小上がりを利用しながらもう一段小上りを増やすことにより、空間に緩やかな区切りが生まれ居心地のいい場所をつくっている。コーヒーカウンターは、時にはコーヒーを提供し時には大きな作業を行う場となるような、使い手のアイディアによって使い方の可能性が広がっていくようなシンプルなもの设计了。

また、既存天井解体後に見えるようになってしまった天井裏の目隠しを作成したり、解体後に発覚した床のわずかな段差を埋めるなど、まずは清潔感のある安全な空間を作ることを最優先とした。コーヒーカウンター裏に露出していた水道管も、収納付きベンチを作ることで目隠ししつつ実用性を取り入れることを目指した。

以上のように、後期は特に現場合合わせで進めなければならない施工が多く、その都度慎重に話し合いながら作業を進めた。

### <小上がり>



pic1. 小上がり解体前



pic2. 新設床の基礎施工



pic3. 小上がり完成後

### <コーヒーカウンター>



pic4. 小上がり解体中



pic5. コーヒーカウンター骨組



pic6. コーヒーカウンター完成



<小口隠し>



pic7.天井裏を隠す目隠し壁

<合板仕上げの床>



pic8.30mm の凹を埋めた床

<収納付きベンチ>

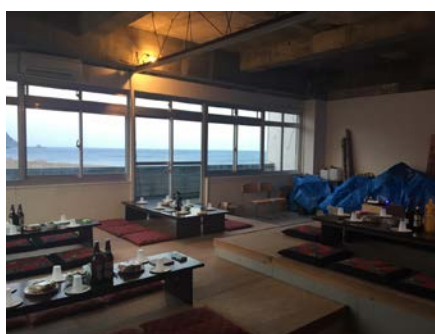


pic9.水道管の目隠しベンチ

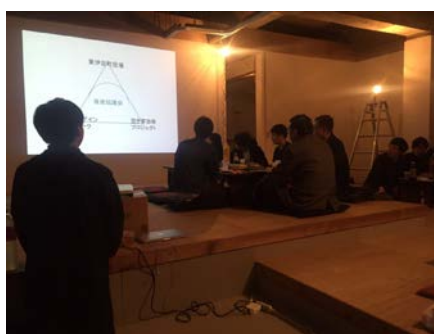
## ▶地元の方々への感謝イベント

お世話になった地元の方々を招待し、今年度の活動報告を兼ねたお食事会を開催した。

参加して下さった方には、施工時に出た端材で作ったオリジナルのコースターをプレゼントした。



pic10.会場設営後



pic11.活動報告のプレゼン



pic12.オリジナルコースター

## 1 年間の成果まとめ、今後の活動計画など

4月の活動開始時にはとても汚かった2階が、1年間で綺麗な空間に生まれ変わった。2月に開催した地元の方々への感謝イベントでは多くの方から「いい場所が出来て良かった。」と、お褒めの言葉をいただくことが出来、地元の方々がこの場所の完成を楽しみにしていることを実感した。

来年度は、運営方法などソフト面についても地元の方々と考えながら、使い方にあった家具の設計を丁寧に行い、施工に関してもグランドオープンに間に合うように常に優先順位を考えながら作業を行っていきたい。

また、今年度は主に設計施工だけで1年間の活動が終わってしまったため、来年度はグランドオープンに向けてイベントの準備を早い段階から行い、より多くの方にこの場所を知ってもらえるようなPR方法の検討などにも力を入れていきたい。